



ほこっと

TEL 0598-38-1133

<http://www.town.taki.mie.jp/library/index.html>

今年も残すところカレンダー一枚
となりました。慌ただしい毎日です
すが、いつもの生活を楽しんで
味わったり、丁寧にご覧になってい
たいですね。

いざや寝ん
元旦はまた
あすのこと

与謝蕪村
よしかふすむら

与謝蕪村 一七二六〜一七八三。
江戸時代の中期の俳人、画家

『折々のうた 春夏秋冬・冬』

大岡信 童話屋 より

12月

■ はお休みです。

日	月	火	水	木	金	土
☀ おはなし会に来てね! ☀						1 おはなし会
2 冬 おたけみ	■		4	5	6	7 8 ほけっと
9	■		11	12	13 14 おもちゃ	15
16	■		18	19	20 あかちゃん	21 22 ほけっと
23	24	■		26	27	■
■						5 おはなし会

すぎやまあきら 杉山亮さんをお迎えして

先生方、お子さんのいるご家族の方々、地域の
みなさんに向けて語っていただきます。
ぜひ、みなさん、お出かけください!

日時：1月10日(木) 19時30分～

場所：勢和図書館



『子どものことを子どもにきく』新潮社

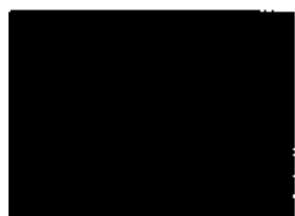
父親が年1回、息子に
インタビュー!? 3歳から
10歳へと成長していく
子どもの世界観をどうえ
た新しい取り組み。
意表をつく受け答えは、
驚き、笑い、そして感動です。

【年末年始の休館】

12月28日(金)から1月4日(金)まで、
多気・勢和両館図書館は休館です。
休館中の本の返却は、ブックポスト(正面
玄関左横)へお願いします。

『カリブー 極北の旅人』

星野道夫 (ほしの・みちお) 新潮社



「あらゆる生命が、ゆくりと生まれ変わりながら、終わりのほい旅をしている」
一生をかけて追い続けたアラスカ「カリブー」。
美しく壮大な自然と命の躍動を、ぜひ!

『深夜特急 第一便 黄金宮殿』

沢木耕太郎 (さわき・こうたろう) 新潮社



世界に飛び出しにくくなる1冊。26歳の〈私〉は、ある日、思い立つとあり金をかき集め、旅に出た。1970年代、インドからイギリスまでの一人旅。パソコンもスマホもない。現地の人々と本音でぶつかるしかほいの1冊。数々の旅の名言も心に響く。

・『深夜特急 第二便 ベルシャの嵐』

・『深夜特急 第三便 飛光よ、飛光よ』

『銀河食堂の夜』

さだまさし 幻冬舎



美味しい料理、人情あふれる客と謎多きマスターが紡ぐ。舞台は銀河食堂。心いやし温めてくれる最高の居場所に今日も一。泣いて笑ってドラマが流れじわりと解けてゆく不思議と謎。

『ぼくは旅にでた または、行きてかえりし物語』

杉山亮 (すぎやま・あきら) 径書房



「1ヶ月したら帰る」という約束で、妻子と離れて旅に出た杉山さんの(まことに自分勝手に)体験記。なぜ、旅に出ねばならなかったのか…。飾り気のない素直な表現から、彼の思いが伝わってくる。

『樅ノ木は残った(上・中・下)』

山本周五郎 (やまもと・しゅうごろう) 新潮社



大河ドラマの原作にもなった歴史長編小説。映像くちはちがいに面白さと味わくみませんか。お家乗っ取りを防ぐために命を懸けた名臣・原田甲斐(はらに・かい)。彼は樅ノ木を見上げてこう、語った。

「まわりには助けくれる者もない。それでもしゃんとして、風や雨や霜にもくじけずに、ひとりでしかりと生きている――。」樅ノ木に自分を重ねているのにならう。人間味あふれ、孤独の中で闘い抜く彼に最後まで心惹かれる。

『しめかざり』 森須磨子 (もり・すまこ) 工作舎



新年の準備に欠かせないしめかざりは、全国さまざまな形で種類も豊富。しめかざりには人々の願いやその土地の祈りが込められているのだ。我が家のしめかざりと各地のしめかざりを見比べてみませんか。

『落語家と楽しむ男着物』

矢内裕子 (やない・ゆうこ) 河出書房新書



着物は日本の民族衣装。でも難しそう!? そこで、着物を自由自在に着ている落語家さんたちと男着物の楽しみを紹介します。毎日、着物を着ている落語家さんならではの知恵やコツも載っています。